



Aesthetics and Science of Literary Art

美学・文芸学専修

美学研究室は、美学思想をさまざまな芸術とのつながりから理解することを重視してきました。現在はさらに、美学という学問がいかに関わりを持つのかにも関心を向けています。美学が積み重ねてきた議論は、分野を横断するアートを考察するうえで有効ですし、デザインの歴史について考える手がかりにもなります。今日ますます芸術を定義するのが難しいのは、周縁がたえず更新されて輪郭が定まらないからでしょう。ならば、芸術をその周縁から考えるのは一番有効な方法です。そして、既存の芸術ジャンルに制約されない美学こそが周縁分野に足を踏み入れることができます。

文芸学研究室は、芸術学の一分野として文学（文芸）や作家の思想を取り扱います。アリストテレス『詩学』などの西洋古典文献から連なる文芸学の潮流を重視することから西洋古典学も扱いますが、関心の対象は幅広く、古今東西の文学や思想・文学論も視野に収めており、文芸学研究室に所属する学生の研究対象は多岐に渡っています。文芸学は「文芸学という学問自体がどのような学問であるべきか」という問いを内在する学問でもあります。文芸学の名の下で取り組むひとりひとりの研究が、文芸学という学問を発展させていくという側面があり、研究室では日々切磋琢磨がなされています。

<http://www.let.osaka-u.ac.jp/bigaku/> (美学)

[大阪大学美学研究室で検索]

<https://bungeigakubungeiga.wixsite.com/mysite-1> (文芸学)

教員

高安啓介 教授 たかやす・けいすけ
渡辺浩司 准教授 わたなべ・こうじ
田中 均 准教授 たなか・ひとし
西井 奨 講師 にしい・しょう

どんな授業があるの？

【講義題目】

芸術論の基礎
近代デザインの美学
文学理論概論
現代神話学概論

【演習題目】

感性の政治学—観客と共同体
文芸学英語文献講読
ラテン語文献講読

何を学んでいるの？

美学

美学の基本的な主題について概観します（「芸術」は定義できる？／芸術作品とはモノかアイデアか？／作者の意図はどれくらい重要？／自然と芸術の鑑賞はどちらがう？）。

文芸学

共通教育科目「文芸学」では、「芸術としての文学」の代表例として古代ギリシア・ローマの文学（特に神話を題材としたもの）と、西洋古代の思想家たちが文学（文芸）に対してどのような態度・立場を採ったのかについても学びます。

近代デザインの美学

造形・構成・形態・空間・表現といった言葉を手がかりに、デザインの考えかたを学びながら、皆さん自身がデザインについて論じるようになります。面白いテーマも見つかりますよ。

教員が選ぶ印象に残った卒業論文

穂村弘歌集『手紙魔まみ、夏の引越し（ウサギ連れ）』における少女像

自身が歌人でもあり漫画家でもある筆者が、現代短歌界で大きな反響を呼んだ歌集を一首一首丁寧に読み解きながら、挿絵との関係、太宰治の少女像との比較など、多角的な観点から考察を行った力作です。（選：田中 均 准教授）

『カレワラ』における呪術表現について

—リョンロートの編集状況から—

フィンランドの民俗詩を基に編纂された叙事詩『カレワラ』について、編纂者リョンロートが「良い」ペイガニズムとしての「古代フィンランド人」の呪術信仰の在り方を描こうとしたと論じる。原典のフィンランド語から丹念に読解し分析した力作である。（選：西井 奨 講師）

【卒業論文題目】

アルフレッド・ヒッチコックの映画作品における「染み」について
北大路魯山人と芸術としての料理—星岡茶寮時代を中心に
グリム童話「白い蛇」における飲食による能力の獲得について
『マクベス』と王権—女性性から見た作品分析—
梨木果歩作品における「癒し」—『西の魔女が死んだ』をめぐる時枝誠記の文学観とその意義

大阪大学美学研究室
Art and Aesthetics
Graduate School of Letters
Osaka University

紹介 about us 美学 aesthetics 雑誌 Journal
近況 news
授業 education

デザイン design
雑誌『aaa』の
デザイン論を
基とした授業で
詳しく学びます

『西の魔女が死んだ』
の魅力を授業で
学びます

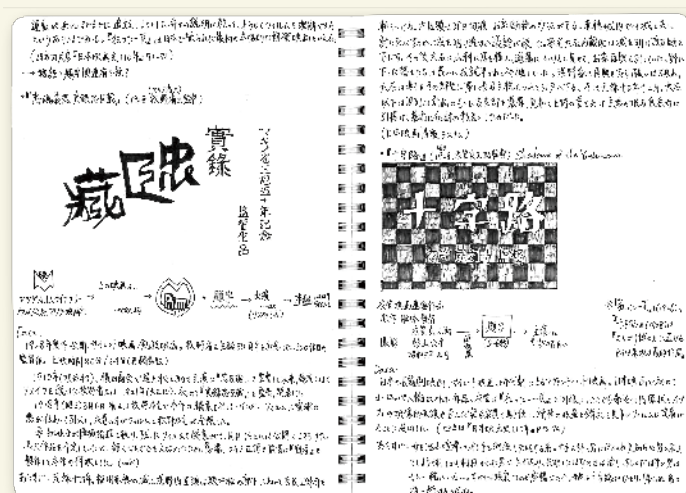
HPトップ画像

λομένην, ἢ μυρί' Ἀχαιοῖς ἄλγε' ἔσσεται, si non hic tantum fructu
 ἄλλὰς δ' ἰφθίμους ψυχὰς Ἀϊδὶ πλῖς delectatio sola peteretur
 ὧων, αὐτοὺς δὲ ἑλώρια τεύχε κ' ἕμῃσιν emissionem humanissimam
 ἰβννοῖσὶ τε πᾶσι, Διὸς δ' ἔτελείετο Nam ceterae neque temporu

芸術のフロンティアを開拓する。

美学研究室
レポート

美学はこれまで、芸術について問いを發してきた哲学分野ですが、現代の美学は、複数のジャンルにまたがる問題をあつかったり、非芸術とみられる物事について関心をもったり、芸術のフロンティアを開拓するような性格をもちあわせています。研究室では、美学を探究するのによし、美学に学びながら、景観・陶芸・写真・衣服・印刷・映像など、1つの分野の専門家になるのによし、多様な関心にひらかれています。一人一人が、芸術文化にかかわる知識をみずから生み出し発信できるよう、授業では、短い文章を書いて指摘しあったり、ポスターを作成して英語で発表したり、さまざまな知的トレーニングを積み重ねてゆきます。



2年生の取井歩来さんのノート（映画のタイトルの研究をしようとしている）

文芸の本質と構造を解明する。

文芸学
研究室
レポート

研究室の特色は？

文芸学研究室では、自分の興味・関心に応じて自由に学習と研究を進めることができますが、それだけに強い自律性も必要となります。西洋古典について学ぶことを薦めているのは、西洋古典が文芸の類型として、また西洋古典の研究手法が文芸学研究の範として大きな参照価値を有しており、文芸の本質と構造の解明に大いに寄与すると考えられるからです。

何が学べますか？

ギリシア語・ラテン語文献講読などの西洋古典学分野の授業の他に、文学理論や神話学についての授業が開講されています。研究対象に選んだ文献の読解・分析に適切に取り組んでいるかどうかは「論文作成演習」にて指導されることになります。研究対象は地域・時代・言語・ジャンルを問わず選べますが、原典が外国語文献である場合は当然その外国語に習熟することが求められます。

どのような人に向いていますか？

西洋古典の文学・思想に関心がある方はもちろんのこと、ロシア文学やイタリア文学などの文学部に専修がない文学を研究したい方、また美学分野との関連から文学作品や作家の思想を研究したいという方に特に向いています。もちろん、日本文学・中国文学・英米独仏文学といった文学部に専修がある文学を研究したい場合も文芸学研究室で学習・研究に取り組むことは可能です。ただし何を対象とするにしても、ただの愛好家レベルに留まることなく、その対象に関する専門家として真摯に研究に向かう人物を歓迎します。

